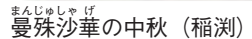


2017年
秋から
冬へ
No. 5



※2 齊明天皇さいめい（卷四―四八六）

冬陽幻映～冬至の落日～（上畑）

写真／加藤秀行

斉明天皇は^{はしひと}舒明天皇の皇后で、^{しゅめい}天智天皇
 間人皇女^{こうてん}（孝徳天皇皇后）、天武天皇の三人
 の母親です。夫が崩御後、即位し、皇極天
 皇となります。この歌は夫、亡き後にもう
 二度とこの世では逢えない寂しさが極限に
 達し、「ああ、寂しい（われはさぶしる）」
 と悲鳴にも似た、悲しみの深さがにじみ出
 ています。

千数年以上前より人を恋しく思う気持ちは
 今も一緒。改めて自分に関わっている人を大
 切にしなければ……と思い知らされる歌です。

※2 飛鳥岡本宮で詠まれた歌です。岡本宮は岡
 寺の近くとか、雷丘の東北あたりとか、飛鳥奥
 山の北方だとか諸説ありますが、決め手はない
 ようです。又、この歌は題詞に「飛鳥岡本天皇
 の御製」とあり、舒明天皇が詠んだのでは？
 という説もありますが、歌の表現や敬意、状況な
 どから、女性なのだと判断し、斉明女帝の歌
 と解釈させていただきました。

寺院のはじまり／飛鳥寺／

とくと越えて
明日の明日へ



日本に仏教が公式に伝えられた時は538年(552年説もある)といわれています。それ以前から大陸からきた渡来人やその一族は私的に仏教を信仰していたようです。仏教公伝後は崇仏か廃仏かで意見が分かれていました。崇仏派である蘇我氏や渡来系氏族は自分の邸宅の一部を寺として仏像を安置し仏教に帰依えいしました。このような行為に対し、物部氏をはじめとする日本古来の神々を尊ぶ廃仏派は反対しました。

で初めて造られた本格的寺院が法興寺（別名飛鳥寺）なのです。わが国でののはじめの高層建築に、当時のあすかびとはたいていそう驚いたことでしょう。



（明日香村文化財課）長谷川 透

[illegible]

3月		2月	1月	11月	10月			9月			
下旬	24 ～ 25	4	14	25 ～ 26	15	14 ～ 15	8	23	23 ～ 24		16
楽	学	楽	楽	学	学	楽	学	楽	楽	楽	学
石舞台古墳校 ライトアップ	第87回現地研修会 （事前申込必要）	おんだ祭り「飛鳥坐神社」	風揚げ大会 （事前申込必要）	第32回古代食を味わう会 （事前申込必要）	帝塚山大学連携イベント 「公開講座＆ウォーク」 （事前申込必要）	古都飛鳥文化祭	飛鳥学冠位叙任試験	飛鳥周遊クイズラリー	彼岸花祭り	飛鳥光の回廊	帝塚山大学連携イベント 「公開講座＆ウォーク」 （事前申込必要）

平成29年（9月～3月）
イベントスケジュール

発行・お問合せ **公益財団法人 古都飛鳥保存財団** 〒634-0138 奈良県高市郡明日香村大字越13-1
TEL：0744-54-3338 FAX：0744-54-3638 E-mail：info@asukabito.or.jp HP：<http://www.asukabito.or.jp>
Facebook：<https://www.facebook.com/koto.asuka/> インスタグラム：[koto_asuka](https://www.instagram.com/koto_asuka/) ツイッター：[@koto_asuka](https://twitter.com/koto_asuka)

日本人の心のふるさと ～その保存と未来のために～

～どれにしようかな。ケーキ？フォカッチャ？手作りのおいしさを頼る幸せ～

手作りのお菓子和季節のケーキが人気の「cafe ひそひそ」のオープンとは3年前。

「隠れ家のようにひっそりと、ゆったり過ごせる空間」という思いが店名となった。姉妹が営むシンプルな、それでいて随所におしゃれ心を感じる古民家カフェだ。

お昼ご飯に「自家製フォカッチャ（イタリアの平たい手焼きパン）の厚切りベーコンレタスチーズサンド」（800円）をいただく。たっぷりの野菜サラダと人参のポタージュスープがワンプレートでついてくる。表面にポコポコとくぼみのあるパンはしっかりと食感で、ガブリ・・・と頬ばると野菜のシャキシャキ感とベーコンの旨味がジュワーと口に広がる。ボリューム満点で女子の腹ペコランチにぴったりだ。

壁一面の本棚には、絵本や、こだわりの食や旅本が何冊も並ぶ。好きな本を手にとって、食後はフルーツたっぷりのケーキとお茶で寛げるのが心地良い。耳をすませばBGMのサウンドトラックもひそひそと「流れてたの？」って感じで癒される。邪魔になるものが何もなく、スローな雰囲気に満たされる店。

器はすべて木製で唇にも心にも優しい触感

誰をもとりこにしようスイーツの甘い誘惑♡

メニュー

モーニング ¥650（～11：00）

ケーキセット ¥800～

フォカッチャセット ¥800

+ ¥350（セットドリンク）

※ケーキ・焼菓子はテイクアウト可

◆電話：0744(54)5630 ◆住所：明日香村越540

◆時間：9：00～17：00（L.O 16：30）

◆定休日：火曜・水曜 ◆https://www.cafehisohiso.com/

私と飛鳥

「飛鳥のにおい」

二月、早朝の散歩。昨日の雪がうっすらと残る径を歩く。朝の淀んだ空気の中、一瞬の冷風が肌を刺す。すると、どこからともなく甘い香りが漂ってきた。目を凝らしてその方向を探すと、雪の帽子を被った透明感のある黄色い花。蠟梅だ。この花からの微かな香りだった。夜明け直前、野の径、名残り雪、微風とが相俟って

一つの「飛鳥のにおい」を醸し出したのだ。（八釣、東山、小山田）

五月下旬、いつもより早く歩き出す。まだ薄暗い。甘樫山麓の野道を歩いていると、突然静寂の中、「キユキユ、キユキユキユ」と鋭い鳥の鳴き声。姿は全く見えない。も一度鳴くのを待つ。しかし静寂のまま。すると微かな甘い香りが漂ってきた。辿ってゆくと、白と赤紫の花群。香りが脳を刺激して、目の前に風景がめぐる。「そう、まさに万葉の世界だ」

『卯の花の ともにし泣けばほととぎす いや珍しも名告り鳴くなへ（家持）』

十月夕方、稲刈り後の田道を歩く。役目を終えた稲藁が、兵隊の立礼の

ように並ぶ。藁のにおいとともにもみ殻を焼く匂いが香ばしい。煙が夕日を背景に、狼煙のように立ち上る。来年の収穫への合図を送っているように。

風景、季節、光、気配などを含めた「飛鳥のにおい」が、あちこちに数えきれないほどあり、これが飛鳥の魅力を支えている。

第一期飛鳥応援大使（橿原市在住） 伴 稔也

（犬養孝先生のおもいで）

平成10年10月3日、91歳で生涯を閉じられた先生は、集中治療室でペンとボードを渡されると、平仮名で「あすか」と書かれ、最後まで明日香への思いをはせられていたといひます。記念館の完成を待たずに、逝ってしまわれぬ先生に、約20年が過ぎた今、心からご冥福をお祈りいたします。

「明日香の魅力は百聞は一見にしかず」花・風・山・川…の自然の永遠なる美しさやその地で育まれてきた人間の愛の尊さ、生命力を感じる万葉の世界をもっとも知りたくなった。

つばいちカフェ（犬養万葉記念館内）

「絶対に売り切れなしです。他店でご飯にありつけなかったランチ難民救います」（笑）

ミニコンサートなどのイベントスペースとして貸し出しもOK。お茶したり、お弁当を広げたり…ご自由にどうぞ。

館長の岡本三千代さん「万葉うたがたり」主宰 万葉集を現代風の曲にのせて歌う演奏活動は37年目を迎える

メニュー

- ・ 棚田米の卵かけごはん… ¥400
- ・ きつねうどん… ¥500（地元豆腐屋さんの特大油揚げ）
- ・ 気まぐれザンデー… ¥200
- ・ シフォンケーキ… ¥300（明日香の米粉）
- + ¥100（セットドリンク）

稲刈の棚田米をトマトソースで炊き込んだオムライス ¥700

◆0744-54-9300 ◆明日香村岡1150

◆時間 10：00～17：00

◆休館日 水曜日 ◆http://inukai.nara.jp/#cafe

祝 20周年

「植える・刈る・そして呑む」米から作るこだわりの限定酒

阪田「うまし酒オーナー」

昔から人が集まれば酒があり、人間関係の潤滑油となる。日本酒は米で造られ、米は田んぼで育つ。

オーナー限定酒「大吟醸さかた」のもとなる酒米づくりから参加できる、まさに農と酒が出会った「うまし酒オーナー」が今年20年目を迎える。石舞台に立つて南を向くと南洲山の麓にある棚田の美しい集落が阪田。6月に酒米・山田錦の田植え、10月に稲刈り、12月にはしめ縄づくりと餅つきがあり、いよいよ我が家で「初しぼり」を堪能する正月へと楽しみがどんどん盛りだ。

各イベントの後には、お楽しみ抽選会があり、地酒や野菜、村内で活動する「ゆめ明日香」の加工品が景品で出品され、これを楽しみに来る人も。

「オーナーさんと話す事で、阪田の魅力が再発見したし、農業や自然と向き合える大切さも教えてもらった。20年の間に地元の間意識も強くなったんやで」という担い手の面々。ただ、高齢化が進み、後継者をどう育てていくか・・・それが30年目に向けての課題だという。大人の遊び心を満喫させてくれるだけではなく、ちびっ子には田んぼでどろんこ遊びや、昆虫を捕まえたりと、田んぼがテーマパークに変身するイベントが盛り沢山。明日香の人と触れ合って、

自分が手塩にかけて育てた米で造った限定酒を呑む。うまい酒と至福のほろ酔い時間を贅沢に味わえる究極のオーナー制度。いかがでしょうか。

※今年は20周年を記念して阪田在住のガラス作家 高橋直樹氏作のオリジナル「くい呑み」をプレゼント。

お酒コース 純米大吟醸6本+初しぼり2本

米コース 純米大吟醸5本+初しぼり2本+新米5kg

会費：21,000円/口各コース共通

★イベントは自由参加で、別途参加費必要。

天日で、はざかけ。「この後の一杯がたまらんで～」

お問合せ（一財）明日香村地域振興公社 0744-54-9200 E-mail info@asukadeasobo.jp

編集後記

音楽が好きでライブによく行きます。ちょっと人見知りするので、友達が「明日香で働いてやんねん」って話を振ってくれます。それなら周りは興味津々。話題は石舞台から始まって、彼岸花の棚田が綺麗やね・・・とか、原風景が残っている都会に近い田舎やなあ・・・とか、NHKで高松塚古墳見たで・・・とか話はつきません。中には、「食べ物屋さんが増えたよねえ」って。その通り。今、村内には50近い食処があります。今回は新しい食処を2件紹介させていただきます。奈良にうまいもんなし」を返上するくらいおいしいうちがかりです。明日香はお弁当を持って歩くのが定番ですが、古代米や生姜の佃煮、あすカルビーなど、ご当地飯をいただく、店の雰囲気を楽しむ、それこそいい（飯）思い出になると思う私です。

新子 信子

遊 イベント報告

「あなたの『飛鳥学』を腕試し」

飛鳥学冠位叙任試験、入門編を、飛鳥をフィールドに、ウォークを楽しみながら飛鳥にまつわるクイズ『飛鳥学』に挑戦してみませんか？成績によって聖徳太子の「冠位十二階」にちなみ冠位と官職が与えられます。今年も小・中学生対象の「小舎人」検定も同時開催。成績優秀者は12月3日（日）に飛鳥坐神社で執り行う「叙任式」にお招きいたします。高得点者は次回、中級編にチャレンジ出来ます。あなた

の「飛鳥学」、腕試ししてみませんか？

開催日：10月8日（日）

試験・飛鳥駅をスタート。飛鳥を周遊し、6ヶ所のポイントで4択式のクイズにチャレンジ。

受検料：1,000円

小舎人検定 500円

申込方法：ハガキ、Eメール又はFAXに住所、氏名（フリガナ）、年齢、性別を明記して、左記までお申込みください。折り返し、当方より受検票を返送いたします。

お申込先

〒634-0138 奈良県高市郡明日香村越13-1（公財）古都飛鳥保存財団 冠位叙任試験係

FAX 0744（54）3638

E-mail event@asukabito.jp

自分が手塩にかけて育てた米で造った限定酒を呑む。うまい酒と至福のほろ酔い時間を贅沢に味わえる究極のオーナー制度。いかがでしょうか。

※今年は20周年を記念して阪田在住のガラス作家 高橋直樹氏作のオリジナル「くい呑み」をプレゼント。

お酒コース 純米大吟醸6本+初しぼり2本

米コース 純米大吟醸5本+初しぼり2本+新米5kg

会費：21,000円/口各コース共通

★イベントは自由参加で、別途参加費必要。

天日で、はざかけ。「この後の一杯がたまらんで～」

お問合せ（一財）明日香村地域振興公社 0744-54-9200 E-mail info@asukadeasobo.jp